

(工学研究科)

公益財団法人日本国際教育支援協会

「平成 31 年 (2019 年) 度 JEES・ドコモ留学生奨学金」の募集

H31. 3. 26

1 応募資格 ・ ・ ・ 以下のすべてに該当すること

- 1) 2019 年 4 月に大学院博士課程前期(修士課程)に入学する私費外国人留学生 (在留資格「留学」)
- 2) 通信技術、情報処理技術及びこれに関連する部門を専攻する者
- 3) 以下のいずれかの国籍の者
インド、インドネシア、韓国、カンボジア、シンガポール、スリランカ、タイ、台湾、中国(香港、マカオを含む)、
ネパール、パキスタン、バングラデシュ、東ティモール、フィリピン、ブータン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、
ミャンマー、モルディブ、モンゴル、ラオス
- 4) 他から奨学金を受けない者
- 5) 日本語能力を有する者
- 6) 卒業後は、日本の通信関連企業に就職を希望し、日本と母国の情報通信分野の発展に貢献する意欲のある者

2 奨学金の金額、期間 月額 12 万円、 2019 年 4 月から 2 年間

3 推薦人数 工学研究科から 3 名(異なる国籍)を推薦、その後、全学での選考を経て 3 名を推薦。

4 提出書類 (日本語で記入すること)

- 1) 願書(別紙様式 1・A4 用紙 4 枚組・写真貼付・PC 作成可)
- 2) 経済状況調書(指定用紙・2019 年 4 月現在で作成)
- 3) 在学証明書 (2019 年 4 月 1 日以降に発行すること)
- 4) 直近の成績証明書(母国など、他大学のものは写で可)
- 5) 私費外国人留学生身上調書(指定用紙)
- 6) 家計状況申告書(指定用紙)
- 7) 指導教員による成績評価(私費外国人留学生各種奨学金申請用)(指定用紙・厳封)
- 8) 応募者推薦書(別紙様式 2、指導教員が記入のこと)

※ 5)~7)は、2019 年 4 月以降他奨学金申請で提出した者は提出不要。

※ 8)については、工学研究科から推薦が決まった後に提出する。

5 申請書類提出先 工学部・工学研究科教務課国際交流係

6 締切日 平成 31 年 4 月 17 日(水)

※総長特別奨学生で採用された場合、支給期間中に授業料免除を受けることはできません。受給が決定していても大学推薦された時点で免除申請は不可となります。

※他奨学金に推薦中、または応募中(直接応募含む)の者は選考対象外です。

平成31年(2019年)度JEES・ドコモ留学生奨学金 願書

年 月 日

公益財団法人 日本国際教育支援協会 理事長 殿

申請者署名 _____

私は、本奨学金の募集・推薦要項の全記載内容に同意・了承の上、平成31年(2019年)度JEES・ドコモ留学生奨学金受給者として採用願いたく、下記記載事項に相違ありませんので、ここに申請いたします。なお、受給者として採用された場合は、受給期間終了まで本奨学金を辞退して他の奨学金を受給することはいたしません。

記

● 氏名

	氏	名	写真 最近6ヶ月以内に撮影したもの。 タテ4.0cm×ヨコ3.0cm、上半身、脱帽、裏面に氏名を記入すること。
フリガナ			
ローマ字			
漢字 (ある場合のみ)			

● 大学名等(支給開始時点)

_____ 大学・大学院

_____ 研究科 _____ 専攻

学部生 ・ 修士(博士前期)課程 ・ 博士(博士後期)課程 _____ 1 年次在籍
 (_____ 年 _____ 月 修了予定)

● 国籍・地域

● 生年月日

_____ 年 _____ 月 _____ 日
(支給開始時点で満 _____ 歳)

● 性別

男 ・ 女

● 現住所等(※印は記入必須)

〒 _____

※ _____

TEL: _____ ※ 携帯電話: _____

※ E-mail (PC): _____

E-mail (携帯電話): _____

● 他の奨学金受給・申請状況（貸与型及び一括支給型（一時金、授業料免除等）は除く）

奨学金名	支給団体名	月額	受給期間	状況 (いずれか選択)
		円	年 月 から 年 月 まで	・受給中 ・申請中 ・受給決定済
		円	年 月 から 年 月 まで	・受給中 ・申請中 ・受給決定済
		円	年 月 から 年 月 まで	・受給中 ・申請中 ・受給決定済

● 日本語能力に関する資格(ある場合)

資格名	レベル	取得年月
		年 月
		年 月

● 学歴・職歴(高等学校卒業以降)

学校名・勤務先及び所在地	専攻分野・職務内容・地位	在学・勤務期間
(高等学校名)		年 月 まで
		年 月 から 年 月 まで
		年 月 から 年 月 まで
		年 月 から 年 月 まで
		年 月 から 年 月 まで
		年 月 から 年 月 まで
		年 月 から 年 月 まで
		年 月 から 年 月 まで

● 留学計画等(スペースが足りない場合、別紙(A4版)を添付してもよい)

(1) 日本で学習・研究する理由

--

(2) 大学院在籍中の学習・研究計画

学習・研究計画タイトル :

(3) 現在の研究が、将来どのように社会に役立てられると思うか。

(4) 学業修了後、どのような進路を希望するか。また将来どのような職業・仕事に就きたいか。

(5) NTTドコモの事業・活動について、あなたがどう理解し、どう考えているかを、自由に述べてください。

以上

【記入上の注意】

1. 申請者本人が日本語で記入すること。タイプ入力する場合は、印刷時に文字が切れないよう注意すること。
2. 氏名はローマ字の活字体を使用し、必ずパスポートと同一の記載とすること。

平成31年(2019年)度JEES・ドコモ留学生奨学金 推薦書

年 月 日

公益財団法人 日本国際教育支援協会 理事長 殿

大学名 _____

学長名 _____ 公印

下記の者は、本学において審査の結果、平成31年(2019年)度JEES・ドコモ留学生奨学金の受給者として適格であると認めため、平成31年(2019年)度JEES・ドコモ留学生奨学金募集・推薦要項に基づき、関係書類を添えて推薦します。

なお、受給者として採用された際は、本学による送金手数料等の負担を含め、奨学金支給事務に協力します。

記

● 推薦する学生の情報 (支給開始時点)

	氏	名	国籍・地域	
(フリガナ)				
ローマ字				
漢字 (ある場合のみ)				
学籍状況 (平成30年4月時点の 予定を記入)	_____ 研究科 _____ 専攻			
	学部生・ <u>修士(博士前期)課程</u> ・博士(博士後期)課程 _____ 1 年次在籍			
※いずれかを選択のうえ、学年を記入 _____ 年 _____ 月卒業(修了)予定				

● 推薦理由 (スペースが足りない場合、別紙(A4版)を添付してもよい。)

推薦者所属先 (学部・研究科 /学科・専攻)		職名	氏名	印

● 大学担当者連絡先

住所	〒 _____		
部署		電話	
氏名		E-mail	

以上

平成31年(2019年)度JEES・ドコモ留学生奨学金募集・推薦要項

公益財団法人日本国際教育支援協会(以下「本協会」という。)では、NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド(理事長 加藤 薫 氏、NTTドコモグループが設立したNPO法人 以下「MCF」という。)のご支援により、「平成31年(2019年)度JEES・ドコモ留学生奨学金」(以下「奨学金」という。)の受給者を下記により募集する。

記

1. 目的

本奨学金は、アジア地域からの優秀な私費外国人留学生に対して、奨学金を支給することによって、入学後の経済的不安を緩和し、学習効果を高めることに寄与することを目的とする。

2. 奨学金の寄付者及び寄付の趣旨

本奨学金の寄付者であるMCFは、21世紀のマルチメディア社会において情報通信の発展とともに豊かで健全な社会を実現するため情報通信分野における人材の育成及び研究の促進、留学生に対する支援を通じた国際協力の推進並びに社会福祉の増進等、幅広い分野への支援活動を通じて社会全体の利益に寄与することを目的に活動している。

MCFは、アジア地域からの留学生への支援を通して、日本への理解を促進し、日本とアジア諸国との良好な友好関係構築に資することを趣旨として資金を提供された。

3. 応募資格

次の各号のすべてに該当する者。

- (1) 2019年4月入学者(10月入学者は不可)で、日本国内の大学(以下「大学」という。)に設置されている大学院の修士課程(博士前期課程)1年次に正規生として在籍する私費外国人留学生。また在留資格は留学である事。なお、日本国内の大学は、寄付者と協議の上選定した指定校制とする。
- (2) 下記の①または②の部門を専攻する者。
 - ① 通信技術、情報処理技術及びこれに関連する部門を専攻する者。
 - ② 人文・社会科学等の部門を専攻する者で、研究に「通信や情報処理」が活用されると大学が認める者。
 - ③ (注)②を専攻するものは願書の「留学計画(2)大学院在籍中の研究概要」の欄に研究手法としての通信や情報処理活用の考え方を明記すること。
- (3) インド、インドネシア、韓国、カンボジア、シンガポール、スリランカ、タイ、台湾、中国(香港、マカオを含む)、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、東ティモール、フィリピン、ブータン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、モルディブ、モンゴル、ラオスのいずれかの国・地域からの留学生。
- (4) 本奨学金の支給期間中、他の奨学金を受ける予定のない者[貸与型(返済が必要なもの)奨学金、学費免除及び一時金は除く]。
- (5) 留学の目的及び計画が明確で、修学効果が期待できる者。
- (6) 真に経済的援助を必要とする者。
- (7) 心身共に健康であり、かつ品行方正で学業成績が優秀な者。
- (8) 日本語でのコミュニケーションが可能な者(日本語で研究発表が出来る程度)。
- (9) 卒業後は、日本の通信関連企業に就職を希望し、日本と母国の情報通信分野の発展に貢献する意欲がある者。
- (10) 在籍大学の長の推薦を受けることができる者。

4. 採用人数

10名程度

5. 支給内容

月額奨学金：120,000円

6. 支給期間

2019年4月より2021年3月までの2年間(ただし、大学における在籍期間中に限る。)

7. 応募・推薦方法

- (1) 本奨学金を受けようとする者(以下「応募者」という。)は、所定の様式による願書を、大学を通じて、本協会理事長(以下「理事長」という。)に提出する。
- (2) 大学の長は、3に掲げる応募資格に該当する者について、8に掲げる応募・推薦書類を、理事長に提出するものとする。
なお、推薦人数については、別途示す。また、複数人の推薦にあたっては、同一の国・地域からの推薦人数は、総推薦人数(実際に推薦する人数)の半数以下とする。

8. 応募・推薦書類

- (1) 願書(別紙様式1。日本語で記載されたものに限る。) 1通
- (2) 応募者の写真(最近6か月以内に撮影したもの。4.0cm×3.0cm、上半身、脱帽、裏面に氏名を記入し、願書の所定欄に貼付すること。) 1葉
- (3) 推薦書(別紙様式2。推薦理由は、指導教官等が記入すること。) 1通

9. 応募・推薦書類の提出期限

2019年5月10日(金)本協会必着。なお、締切期日を過ぎた場合や提出書類に不備がある場合は、受理しない。また、提出書類は一切返却しない。

10. 選考方法及び結果の通知

理事長は、7の(2)により推薦された者について、寄付者と協議の上書類審査を行い、受給者を決定する。結果は2019年7月上旬を目途に、大学を通じて通知する。

11. 支給方法

奨学金は、別に定める方法により、大学を通じて支給する。

12. 受給者の義務

- (1) 受給者は、本奨学金支給期間中の学習・研究状況について、学業成績証明書と共に、毎年度末及び奨学金受給終了後、所定の様式により、大学を通じて本協会に提出しなければならない。
- (2) 受給者は、住所・連絡先及び所属先(大学・就職先等)に変更があった場合、本奨学金受給期間中は大学を通じて、受給終了後は直接本協会へ遅滞なく届け出なければならない。
- (3) 本奨学金を受給した者は、自身の進路について、大学卒業時に所定の様式により、大学を通じて本協会に報告しなければならない。
- (4) 受給者は、本協会または寄付者の要請に応じ、レポート等の提出、および交流会・インターンシップ等に参加しなければならない。
- (5) 受給者はMCF主催の受給者交流会に原則として参加する。なお、交流会は2019年11月に、開催を予定している。また交流会では研究内容を日本語で発表すること。
- (6) 本奨学金採用後、やむを得ない事情により応募時点での研究内容に変更が生じた場合は、大学を通じて、変更理由および変更後の研究内容を本協会に提出しなければならない。

13. 奨学金の休止または終了

- (1) 受給者が長期欠席した場合は、奨学金を支給しない。
- (2) 受給者が、次の①から④のいずれかに該当した場合には、奨学金の支給を打ち切る。
 - ① 大学を休学又は留年した場合。
 - ② 奨学金受給者の義務を怠った場合。

- ③ この要項の定める事項に該当しなくなった場合。
- ④ その他受給者として相応しくないと判断された場合。
- (3) 応募・推薦書類の記載事項に虚偽のある場合は受給決定を取り消す。
- (4) 寄付者からの寄付が滞った場合、事前通知のうえ、休止又は終了する。

14. その他(注意事項)

- (1) 受給者は、原則として、本奨学金の返還義務を負わない。ただし、13. に挙げる事項に該当する場合、すでに支給している奨学金の返還を求める場合がある。また、本奨学金寄付者への入社その他の付帯義務を負うものではない。
- (2) 奨学金採用決定(本奨学金採用決定通知を大学が受領した時点)前に他の奨学金の受給が決定した場合、大学を通じて本協会に速やかにその旨報告しなければならない。本奨学金受給生として採用された場合、他の奨学金の受給を目的として辞退することはできない。

15. 個人情報の取り扱い

(1) 個人情報の管理

本協会は、本奨学金に関連して取得した願書・報告書等に記載される全ての個人情報を本協会の個人情報保護方針に基づき、本奨学金寄付者と共同して、細心の注意のもと管理・利用・破棄する。また、あらかじめ本人の同意がない限り、個人情報を他の第三者へ開示・提供しない。

(2) 個人情報の利用目的

本協会及び本奨学金寄付者は、本奨学金に関連して取得した個人情報を適切に管理し、下記以外の目的には利用しない。

- ① 応募書類を本奨学金の受給者を決定する選考の際に利用する。
- ② 応募書類に記載された個人情報を奨学金支給事務のために利用する。
- ③ 応募書類に記載された個人情報を奨学金授与式または交流会・インターンシップ等の開催時に利用することがある。
- ④ 応募書類に記載されたメールアドレスあるいは電話番号を当協会実施の学生援助プログラムの案内や参加の際の連絡手段として利用する。
- ⑤ 報告書、お礼状、近況報告等を事前に受給者本人からの承諾を受けた上で、当協会及び奨学金寄付者のホームページ等において広報目的に使用することがある。

16. 応募・推薦書類の提出先・問い合わせ先

公益財団法人日本国際教育支援協会 事業部 国際交流課
〒105-0003 東京都港区西新橋1-13-1 DLXビルディング12階
TEL:03-5454-5274 FAX:03-5454-5242 E-mail:ix@jees.or.jp

* 2019年4月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

私費外国人留学生身上調書

2019年4月現在

1. 身分・名前等

身分	学部 年、学部研究生、 MC 年、DC 年、大学院研究生		学籍番号	
学科名 専攻名		指導 教員名	研究室 TEL	
氏名	(漢字)			既婚・未婚
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)		国籍	
東北大学 入学前の 在籍大学		年 月 卒業・修了		
東北大学で の移動 (新しい順 番に)		年 月 ~ 現在		
		年 月 ~ 年 月		
		年 月 ~ 年 月		
住居 (○で囲む)	<input type="checkbox"/> 東北大学国際交流会館 <input type="checkbox"/> 三条ユニバーシティハウス <input type="checkbox"/> 青葉山ユニバーシティハウス <input type="checkbox"/> 仙台第一国際交流会館 <input type="checkbox"/> 仙台第二国際交流会館 <input type="checkbox"/> 県・市営アパート(住所) <input type="checkbox"/> 民間アパート(住所)			

2. 家庭状況 (現在同居する者だけを記入してください。)

配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する)

氏名	続柄	年齢	勤務先または学校名

* 2019年4月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

家計状況申告書

在籍	学部 年	学籍番号	
	MC 年、DC 年、大学院研究生		
氏名			

家計状況

* 2018年4月から2019年3月までのあなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

* 2018年10月入学の方は、2018年10月から2019年3月の家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

* 収入と支出の合計が同じになるように記入してください。

収 入		支 出	
自国の家族等からの送金	円	食 費	円
奨学金(本人)	円	家 賃	円
奨学金(同居家族)	円	光熱水料費	円
アルバイト(本人)	円	交通・通信費	円
アルバイト(同居家族)	円	その他	
貯金から	円 ()		円
その他	()		円
()	円 ()		円
()	円 ()		円
合 計	円	合 計	円

奨学金受給状況

* これまでに奨学金をもらったことがありますか? 有り・無し (○で囲む)

* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間	月額・年額(○で囲む)	奨学金の名称
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	

授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

* 該当箇所を○で囲む

平成31年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
平成30年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
平成29年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった

指導教員による成績評価(私費外国人留学生各種奨学金申請用)

この評価は、指導されている私費外国人留学生が各種奨学金へ応募する際に記入していただくものです。**(2019年4月以降に、他の奨学金で既に提出済みの場合は不要です。)**

- 1) 研究室内の他の学生を基準にして、相対的に評価をお願いします。
- 2) 評価はA・B・Cのいずれか、または、評価不能(指導して日が浅い場合など)を該当欄に○印をお願いします。

留学生氏名: _____

所 属: _____ 学科・系 _____ 年次・研究生
_____ 専攻・前期 _____ 年次・研究生
_____ 後期 _____ 年次・研究生

評価	成績評価内容
	A(非常に優秀)
	B(優秀)
	C(良好)
	評価不能

* 評価不能の場合、その理由を記入ください

理由:

平成 年 月 日

記入者(指導教官、クラス担任等)

所属 _____
官職 _____
氏名 _____ 印

－奨学金申請時の心得について－

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2019.02.01

1 申請の前に

- ・募集要項をよく読み、資格を満たしているか確認してください。応募条件や支給内容だけでなく、採用後の義務なども確認してください。（認定式や交流会などへの出席は必須、財団により定期的な課題提出などもあります）
- ・申請に必要な書類が手元にあるか、必ず確認してください。特に前課程の成績証明書の不足が多いので注意してください。
- ・他の財団に大学推薦または直接応募により申請中の場合は、結果が未定でも新たに申請することは出来ません。（ただし、双方の奨学金が併給可の場合を除きます）
- ・財団によって選考方法が異なります。面接がある場合はあらかじめ交通費、場所、日時などを確認し、必ず出席できるようにしてください。

2 申請書類について

- ・継続申請の場合も、前回の内容をそのまま流用せず、新たに願書を作成してください。
 - ・消えるボールペン（フリクション）は使用せず、必ず黒のボールペンで記入してください。
（消えるボールペンで書かれた書類は財団に提出できません）
 - ・選考の際、申請書類によってあなたの印象は大きく左右されます。選考者（相手方）が読みやすいよう、丁寧な記載を心がけてください。
 - ・書き損じた場合は修正液（テープ）や斜線での訂正はせず、新しく書き直しましょう。
 - ・学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記入してください。
 - ・記入上の注意や指定には必ず目を通し、それに従って記入してください。
 - ・相手方に失礼のないよう、記入欄の7～8割を目安に記入するようにしてください。
 - ・すべて書き終えたら、記入漏れなどがいないか必ず確認して下さい。特に記入することがない欄も、「なし（数字なら0）」等と記入して下さい。
- ※エクセルデータから出力する場合、すべての文字が切れずに枠内に収まっているか確認してください。

3 その他

- ・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合は所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。個人で財団へ直接問い合わせはしないこと。
- ・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。必ずあらかじめ所属部局の奨学金担当係に確認してください。
- ・大学を通さず直接応募または継続受給の申請等を行う場合は、必ず前もってその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。